

- 4月24日に発生した所内電源A系停止の事故点となった所内共通M/C_2Aと所内共通M/C_1A間のケーブル（連系線）のうち1条は損傷し使用できない状態です。
- 損傷ケーブル復旧までの応急対策として、6月26日に全3条ある所内共通M/C_2Aと所内共通M/C_1A間のケーブルのうち損傷した1条（ケーブル3本）を解線し、現在、残りの2条で電源を（A系から）供給しています。
- 損傷したケーブルの本復旧（ケーブル引き換え）の準備が整ったことから、本復旧作業を9月11日から開始しました。
- 本復旧の際は掘削作業を予定していることから、本事案の原因と対策を踏まえ、予め定められた手順（ガイド）に沿って、事前に埋設物の事前調査を実施し作業を進めます。

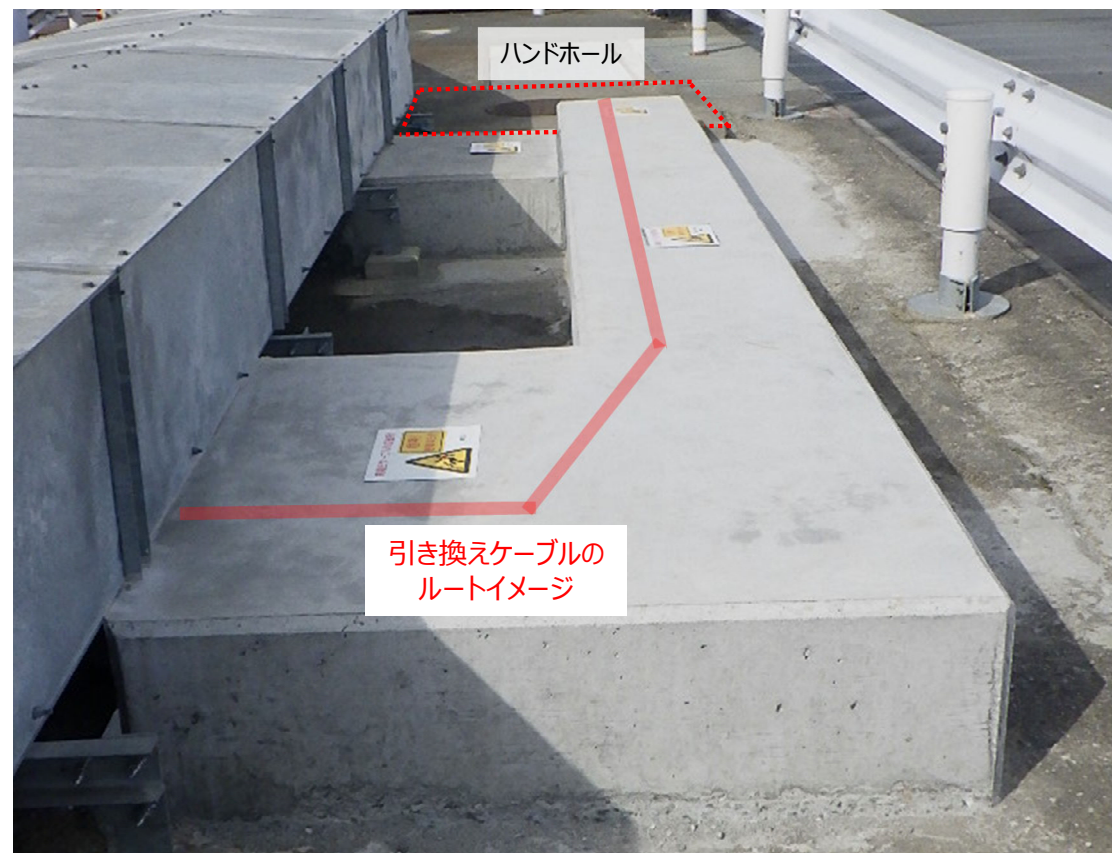
<以上、9月11日までにお知らせ済み>

- 9月11日から開始していた所内共通M/C_2A-1A間ケーブル（連系線）の本復旧作業について、11月12日に損傷したケーブル1条（ケーブル3本）の引き換えが完了しました。
- これにより、所内共通M/C_2A-1A間のケーブルは、4月24日に発生した所内電源A系停止以前の電源供給状態に復旧しています。
- 引き続き、周辺環境や廃炉作業に携わる方々に悪影響を及ぼさないよう、安全最優先で作業を進めてまいります。

事故点と現場の復旧状況



損傷したケーブルの状況
(撮影日：2024年9月12日)



現場の復旧状況
(撮影日：2024年11月1日)